

2009年3月9日

## 新しいウェブサイトのねらいと可能性

～信州里山.net～

信州里山.net ウェブプロデューサー  
田中万里子（東京農業大学講師）

### 1. はじめに

長野県の森林は人々にたくさんの恩恵を与えてくれます。木材の供給、観光資源、環境に大きく分けられます。そして、信州には「森林の文化」と「木の文化」があります。現在、木材価格の低迷など多くの難問がありますが、「地域産業」を元気にしたいものです。

他方、IT（情報技術）のひとつであるインターネットは3つの特徴があります。

①「距離の超越」：森林地域は大都市から遠く離れたところにあり、また面積も広大です。移動にはこの距離が問題ですが、ITを使った情報交換では同じ接続条件であれば、距離と無関係に大都市同様のビジネスが可能で

②「時間の超越」：電子メール、ウェブページによる情報公開はコンピュータを介しコミュニケーションを行うため、人単位での人員配置をせずに小さなニッチサービスを可能にします。

③「情報量無制限」：美しい森林の画像をはじめ有用な情報を無制限ともいえる量の提供ができます。

さらに、④「双方向通信機能」が注目されています。これにより直接会わなくてもまた面識がなくともコミュニケーションを行い協力や商談をすることができます。

このたび、これらの特徴を生かした新しいタイプのポータルサイト（検索者の入り口となるウェブページ）の構築を目指し、「信州里山.net」を企画・構築しました。まだ、器ができた段階です。みなさまと多くの検索者が訪れるように育てて、地域産業を活性化したいと考えています。

### 2. これまでのウェブページ

インターネットで情報公開する中心的存在がウェブページです。21世紀に入り世界中でウェブページが進化しています。日本の他産業界でも企業によるウェブページへの投資額が増加し、メディアの活用方法が変わってきています。

ウェブページについて考えてみましょう。長野県の森林地域に関するウェブページはすでにたくさんあります。個人やグループ、多くの組織が森林情報を提供しています。組織は長野県、各市町村、森林組合をはじめとする各組合、木材を扱う企業、商工会などさまざまです。

ウェブページは見てもらってこそ価値があります。見て活用してもらわなければただ存在するだけになってしまいます。他産業界ではさまざまな工夫がなされています。進んでいる企業ではマーケティングを考慮し次々に改良しています。一方、自治体などの組織の場合には広報に代わる役割が大きいでしょ

てメリットがあります。公共団体側にとっては問い合わせが減ることで省力化が図れます。今後は電子自治体としてウェブページは中心的役割を担うことでしょう。

今まで作られてきたウェブページは構築主体となる組織の仕事の目的に合わせて情報を提供してきました。ウェブページの構築そして維持管理や情報内容の更新には費用がかかります。そのため、自治体といえども無限に経費をかけられる訳もなく、組織の活動目的に合った情報提供が優先されることは当然のことです。

企業の場合にも、その組織の経営目的や、販売戦略、採用活動、ソーシャルマーケティングなどの目的に合わせた情報を提供していくことになります。

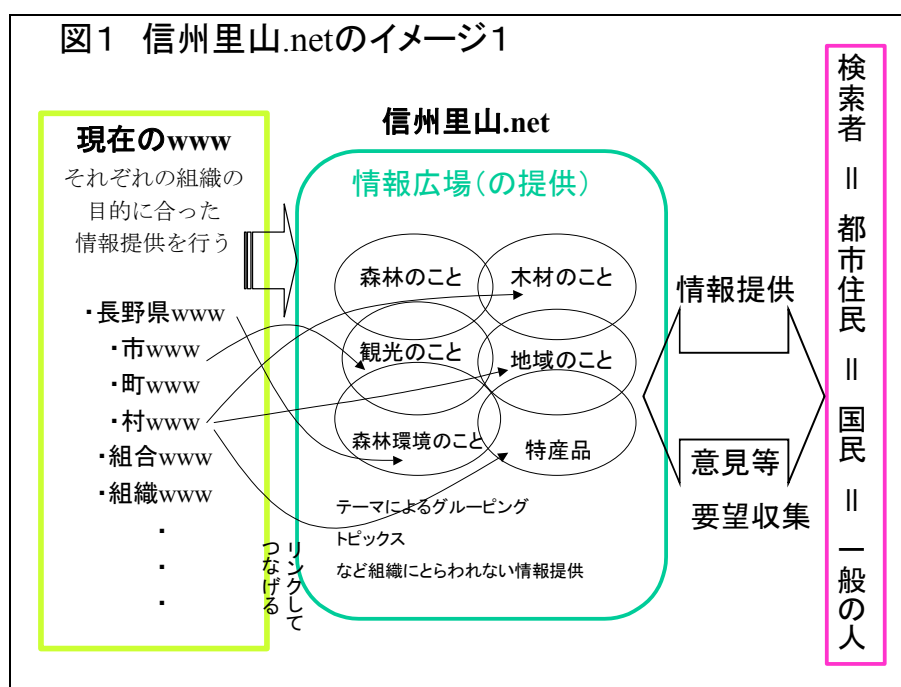
ところで、最近ではブロードバンドの普及やパソコンの処理速度の向上、携帯電話の進化から、文字情報と静止画像のみならず、動画、音声など多種類の情報を手軽に扱えるようになりました。さらに地図など GIS データも取り扱うことができます。他方、検索側の情報環境が多様化していることから、これを考慮して情報提供していく難しさが出てきました。対象とする検索者の立場に立った情報提供はどの場合にも必要です。

現在検索者は検索エンジンといわれるページで検索し、各ウェブページを見てまわります。情報過多の時代に欲しい情報を探すことは労力と時間を要します。

### 3. 新しいウェブページのねらい

現在のウェブページは市町村などの組織が関係する情報を個々に提供しています。森林に関することは関係する組織が対象地域の情報提供をしています。そして必要な場合には関連するウェブページを個々にリンクしてつなげています。今回、次のような新しいタイプのウェブページを構築しました。

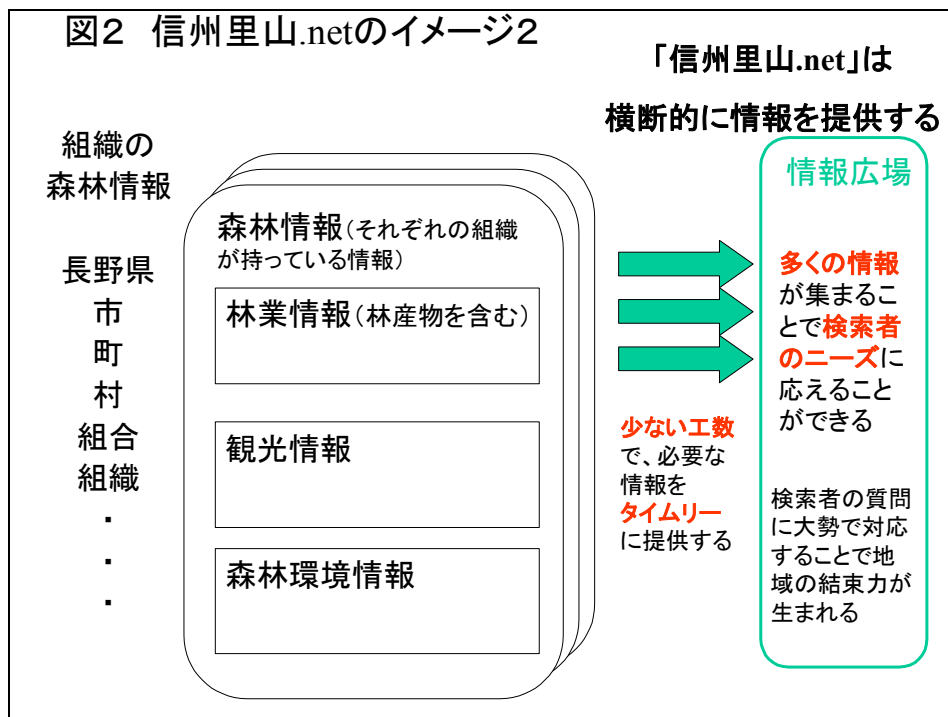
「信州里山.net」は「情報広場」のイメージです（図1参照）。情報提供側は多数の参加組織です。それぞれが提供した情報を集めて並べ、検索者がこの「情報広場」に来れば新しい様々な情報を一挙に得られることを狙っています。



個々の情報提供者は小さな情報を提供します。正しい情報であれば組織の立場や目的にとらわれない情報でも良いのです。少ない工数での情報提供が可能です。詳細情報は各自のウェブサイトをリンクすることで検索者に情報提供します。このようにすることによって簡単な“情報のショーウィンドー”ができます。また多数の組織の情報を収集することで情報の厚みが出ます。

インターネットにおいて日本語のウェブページの検索可能者は日本語のわかる全世界の人々です。大多数は日本国民のインターネット利用者です。2007 年末国民の 69.0%の 8811 万人が利用しています（平成 20 年度情報通信白書より）。検索者は長野県在住の人のみならず大都市住民も含まれ大きな可能性を持っています。

検索可能者の多いインターネットですが、情報量無制限のようにウェブページの数膨大です。その中で、多くの方に検索してもらうには、欲しい情報、新しい情報があることが大切です。情報提供者の数が多くなれば 1 組織当たりの工数が少なくても有益なウェブサイトが運営できます（図 2 参照）。

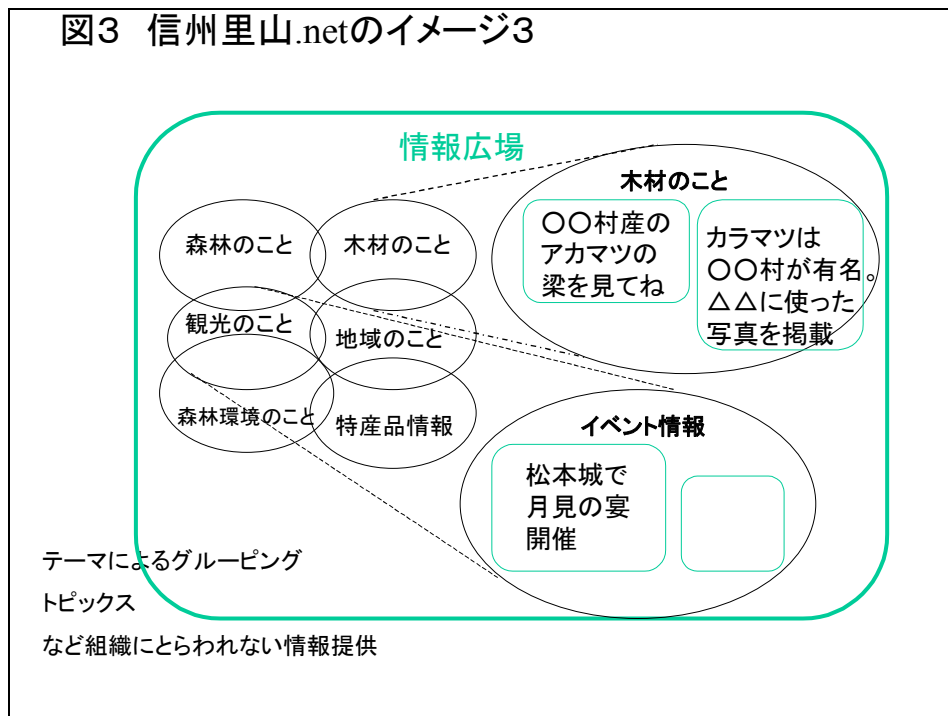


#### 4. 双方向通信機能の活用

最近のウェブページの運営では、インターネットの 4 番目の特徴である双方向通信機能の活用がポイントとされてきています。一方向の情報提供に終わらせず、検索者の欲しい情報を提供することで、協力者を増やし目的を実現しようとするものです。今回の場合の目的は、木材の購入者を増やすこと、観光客数を増やすこと、環境整備への理解者を増やすこととなります。

森林地域の住民と都市住民とでは森林に対する感覚や知識が異なります。双方向通信機能の活用によりこの差を少しでも減らし有益な情報提供につなげようと考えています。

検索者へのアンケート調査によって質問を募ったり、これに対する回答をまとめ Q&A 集を作るなど、検索者参加型の運営を狙っています。電子掲示板のような自由な運営ではなく、あくまで運営委員会主導の情報提供です。



## 5. 信州里山.net の役割

信州里山.net は 2008 年 12 月試公開することができました。これがゴールではなく、文字通り「誕生」したばかりです。これから情報提供者として参加するみなさまと、多くの検索者の力を結集して運営することで育てる段階に入ります。

信州里山.net は、直接の情報提供や元来のデータベースの構築が目的ではなく、あくまで情報提供者と検索者の橋渡しをするものです。試行期間はサンプルのため情報提供しました。

- ① すでに在る情報と検索者をつなげることや新しい情報の発信をすること
- ② データベースとしては索引のようなものになること
- ③ 双方向通信機能を活用すること

を重視します。従来のウェブサイト構築からすると、まるで「ザル」のようで心もとないですが、それが信州里山.net の最大の特徴になり、時間と共に成長できる仕組みです。

なお、未だ情報提供されていないものや、信州にまつわる情報についてデータベース化することは重要と考えます。実際には情報提供に参加する他のサイトを手助けして育てることになります。

したがって、信州里山.net は「週刊誌」的になります。定期的に（できれば 1 週間単位など）毎月 2 回から 4 回テーマを決め、参加組織（市町村や組合その他）に簡単な情報（写真とコメント）と、あればリンク先の情報を提供してもらいます。すると、定期的に小さい情報が参加組織の数だけ収集できます。これが今までにない“情報のショーウィンドー”

になります。

一度にたくさんの情報を提供する必要はないのです。たとえば地元の巨木などは何度も企画して毎回1本ずつ紹介することで、回を重ねるとある村の巨木の情報が他の地域と一緒にリストアップされます。時が経つと小さな情報が蓄積される仕組みです。

## 6. 学生アンケートの実施

試公開に際し、検索者の質問をすぐに集めていることは難しいため、東京の大学生を対象に学生アンケートを実施しました。3大学で実施しましたが、集計した1大学の集計結果とアンケート用紙を参考のため資料として載せました。これは文系の学生の意見です。アンケートはあくまでこんな意見もあるとして参考にしてみると良いと思います。

なお、森林に特には興味がない文系の学生のため、観光面の回答が多くなっています。

## 7. 今後の可能性

“さる”の情報はとてもユニークでタイムリーな新しい情報提供で最適でした。さることやその被害を知らない人々にも知らせることができます。地域の人々の日々の生活でもこの情報を大いに役立ててもらいたいです。

このような地元の生活に密着した情報発信もぜひしていきたいです。その意味で今後の可能性は予測できないほど大きいのではないかと考えています。型にはめない情報を発信していきます。検索者に対して個々の質問に回答するのではなく、広く回答情報を公開していくことが双方向通信を生かすことになるでしょう。ひとつの質問に複数回答があると、森林地域のいろいろな面が引き出されると期待できます。

多くの方が情報提供を行うためにはわかりやすいことが大切です。森林地域の情報を大きく3つに分けて考えています。表1はその一例です。委員会で選択した質問やテーマについて、それぞれが判断し適切と考えられる地域内の情報を少しずつ提供いくことで、いろいろな情報が出てきます。地域色を含むこのような情報提供は検索者にとって魅力があり、その可能性については計り知れないと考えられます。

表1はアイデアを掲載しただけですが、みなさまの地域や組織ではこのような質問にどのような回答をしていただけるでしょうか。ぜひ考えてみていただきたいです。またどのような情報を信州里山.netで提供したら良いと思いますか。思いを広めていきましょう。

## 8. さいごに

試公開した信州里山.netの成果を評価することは未だ難しい段階です。今はみなさまそして検索者の力を借りて色付けし方向付けをする段階です。一方、アクセス数の増加を見ると良い方向に向かっていると考えられるでしょう。また、昨年12月と年明け1月に実施した学生アンケートのコメントでは期待の声が多く聞かれ、これからの運営が重要だと考えます。

ここまで信州里山.netを作るのに関わった方々は新しいウェブサイトの考え方に戸惑いながら努力して試公開にたどりつきました。これからはここに居られるみなさまのご協力を得て、前進していくことができると期待しています。ご一緒に森林地域の活性化を目指して、信州里山.netを育てたいと思います。さいごにみなさまの力を貸していただきたく

重ねてお願い致します。

表1 森林地域の情報分類と項目、質問案

分類	項目と質問案
木材生産	<p>信州の木 : 地元の代表的な木を紹介しましょう。</p> <p>木材の使い方 : 地元の木はどのように使われてきましたか？</p> <p>信州の物産 : 地元の物産を紹介しましょう。</p> <p>信州のお土産 : お土産品を紹介しましょう。</p> <p>信州の建物 : 地元で親しまれている建物を紹介しましょう。神社や寺、歴史ある建物、学校、商家、武家屋敷など。</p> <p>各地の技術の紹介 : 地元で行われてきた林業その他の技術を紹介しましょう。</p> <p>人物紹介 : 林業に関わる人々や、生活について紹介しましょう。</p> <p>薪情報 : 入手方法や情報などを提供しましょう。</p>
観光情報	<p>観光ポイント : 写真や記事で観光地や絶景ポイントを紹介しましょう。</p> <p>温泉 : 温泉や温泉施設を紹介しましょう。</p> <p>イベント情報 : お祭り等タイムリーな話題を提供しましょう。</p> <p>道の駅 : 最近話題の「道の駅」の特別な情報を提供しましょう。</p> <p>フットパス : 周囲の写真や地図など役立つ情報を提供しましょう。</p> <p>宿泊情報</p> <p>公園</p> <p>施設</p> <p>自慢の蕎麦</p>
環境情報	<p>森林管理作業の説明 : わかりやすく説明しましょう。</p> <p>森林管理作業実施状況 : 前後の写真や状況説明など提供しましょう。</p> <p>治山工事情報 : わかりやすく説明してください。</p> <p style="text-align: center;">(現在の目的は理解者を増やし協力者を増やすことです)</p>
その他	<p>地域の最新情報</p> <p>その他のイベント情報</p> <p>絶景ポイント探し</p> <p>巨木紹介</p> <p>木橋紹介</p> <p>好きな木製品、箸</p> <p>好きな家具自慢</p> <p>森林地域の民話や伝説</p>

(注) これらは案であって、いろいろ広がる可能性があります。

参考資料 2008年12月実施の学生アンケートの集計

質問7 信州に興味 信州との関係 人数	信州に興味有り		信州に興味無し		総計	
	有	無	有	無		
	11	15	5	27	58	
質問1 1. 観光情報	11	13	5	19	48	83% ㊟
2. 林産物の情報	3	2	1	3	9	16%
3. 森林管理作業情報	1	0	0	2	3	5%
質問2 観光地や絶景ポイントの 紹介（写真や記事）	9	14	5	18	46	79% ①
温泉	11	10	3	15	39	67% ②
信州の 等）	10	10	1	13	34	59% ③
観光 道の駅	2	3	3	7	15	26%
その他の記述	3				3	5%
信州のお土産	10	14	3	20	47	81% ①
信州の 物産	4	5	2	5	16	28%
木& 信州の建物	1	4	1	5	11	19%
木材 信州の木	3	1	0	3	7	12%
その他の記述						0%
森林管理 作業実施状況	5	7	2	10	24	41% ①
森林管理 作業の説明	3	5	2	3	13	22%
管理情報 治山工事情報	2	2	0	2	6	10%
その他の記述						0%
質問3 写真と文章による紹介	11	10	3	16	40	69% ①
動画による紹介	3	8	3	13	27	47% ②
情報提 示方法 写真ギャラリー	6	3	0	4	13	22% ③
Q&A集（過去の検索者 の質問への回答集）	3	5	0	4	12	21% ④
地図検索	2	3	1	5	11	19% ⑤
問題集（問題に解答後、 正解を解説する）	1	2	1	2	6	10% ⑥
お問い合わせ	1	1	0	2	4	7% ⑦
その他の記述有り	5	3	0	3	11	19%

2008年12月試公開直後に行ったアンケート結果について

新しいウェブページにアドバイスするという立場で次ページのアンケートに回答してもらった。対象者は拓殖大学文系1年生58名である。上記表は信州に関する興味の有無、関係の有無で分類してある。合計の回答率の多い順に並べた。回答数が少ないため、これだけから明確なことは言えないが、回答数の多いものは総じて大多数の意見を表していると予想できるであろう。

その他の意見として、トップページがたいへん好評であった。「もう一度行きたい」など大学生にも共感してもらえた。「美しい風景写真をもっと見たい」との意見も多く、「自然や緑をもっと押し出したらどうか」の意見や、「応援したい」との声も出ていた。

今後他大学の集計を行い、また長野県の方にも意見を出していただき、信州里山.netの参考にしたいと考えている。



信州里山.net アンケート

—新しいサイトの試みにご意見を聞かせてください—

「信州里山.net」は信州の森林地域の情報発信を目的に作りました。(2008年12月試公開)  
 多くの方へ信州の情報を提供できるサイトに育てたいと考えています。ご覧になり、質問にお答えください。 <http://www.shinsyu-satoyama.net/>

**質問 1.** 森林の多い地域の情報には、観光、林業(木材や家具などの木製品や山菜などの副産物)、森林環境管理が考えられます。毎週情報更新する予定ですが、どのような情報があれば、再び見ていただけますか?○をつけてください。(複数可)

1. 観光に関する情報      2. 林産物の情報      3. 森林管理作業に関する情報

**質問 2.** 各情報について知りたいと思う内容に○をつけてください。(複数可)

信州の観光	信州の木&木材	信州の森林管理情報
1. 観光地や絶景ポイントの紹介(写真や記事) 2. イベント情報(まつり等) 3. 温泉      4. 道の駅 その他フットパスの情報など、自由にお書き下さい。	1. 信州の木 2. 信州の建物 3. 信州の物産 4. 信州のお土産 その他、自由にお書き下さい。	1. 森林管理作業実施状況 2. 森林管理作業の説明 3. 治山工事情報 その他、自由にお書き下さい。

**質問 3.** 情報提示方法について好きなものを選んでください。(複数可)

1. 写真と文章による紹介      2. 動画による紹介      3. 地図検索      4. 問題集(問題に解答後、正解を解説する)  
 5. Q&A集(過去の検索者の質問への回答集)  
 6. お問い合わせ      7. 写真ギャラリー

その他、自由にお書き下さい。

**質問 4.** 「信州里山.net」のデザインその他の感想を聞かせてください。

**質問 5.** 「信州里山.net」へのアドバイスをお聞かせください。

**質問 6.** 他地域の情報提供サイトで気に入っているものがありましたら紹介してください。

**質問 7.** 回答者ご自身のことをお教えてください。(回答は集計のみに使わせていただきます)

- ☆年齢(何十歳代か?) \_\_\_\_\_歳代      ☆性別    1男    2女  
 ☆信州との関係(親戚知人や訪問経験など)    1無し    2有り(内容: \_\_\_\_\_)  
 ☆信州についての興味の有無    1無し    2有り(内容: \_\_\_\_\_)  
 ☆インターネット検索について  
     パソコンで検索しますか?    1. よく検索する    2. 時々する    3. あまりしない  
     携帯電話で検索しますか?    1. よく検索する    2. 時々する    3. あまりしない

ありがとうございました